

FinePlay!!



豊中市立第五中学校
第1学年 65期 No.25
2016年11月11日(金)

～ 互いに助け合う集団に～

11月に入り、もう2週間が経とうとしています。気温も下がり、少しずつ冬に近づいています。手洗いうがいの励行、十分な食事と睡眠。体調管理には十分気をつけてください。

さて、後期に入り、生徒会執行部にも1年生が2名加わりました。学校をよくしたい！この一心で活動を頑張っています。各クラスの議員や委員さんも代わり、前期の生徒たちが作ってくれた土台を少しずつ行動に移していこうという目標を決め、日々会議を重ねています。慣れないことも多いと思いますが、クラスのため、学年のため、そして学校のために最後までしっかりとやり切ってほしいと思います。

まず始めの取り組みとしては、“ベル着の声かけ”

です。声かけには勇気が必要ですが、議員からベルが鳴る3分前に「教室に入ろう～」「もうすぐチャイム鳴るで～」という声が少しずつ飛び交うようになりました。そして、この声に動く様子もたくさん見られます。「ベルが鳴ったと同時に始めのあいさつができる」という準備（授業に必要な道具や授業にのぞむ気持ち）をきちんと整える。そして落ちついた状態で授業にのぞめるような空気を作っていこう。



そして迎えた当日…。行列ができるほどの人気ぶり。何より子どもたちへの対応がすばらしかったです。ていねいな説明、優しい言葉かけ、こどもの目線で手助けしている姿が印象的でした。帰り際には本当に疲れた様子でしたが、用意していた大量の景品もなくなるほど、子どもたちに大人気で本当によく頑張ってくれました。本当にお疲れさまでした。

人のためにそして、まちのために動くボランティア。疲れるけれど必ず「ありがとう」が返ってきて、感謝される。そして、学びもあり、人として大きく成長することができます。きっとこのメンバーもたくさん学ぶことができたことでしょう。このように「誰かのために何かをする」というボランティア精神を65期の全員で共有し続けてほしいです。



参加してくれた人
おつかれさま！

ふれ愛子どもカーニバル

11月5日(土)に第20回目のふれ愛子どもカーニバルが開催されました。今年は、1年生が5中を代表して参加しました。はみごがない、みんなが笑顔で、つながりが深い、このようなまちづくりに、地域のためにボランティアとして20名の生徒が活動しました。当日を迎えるまでに多くの準備をし、子どもたちに喜んでもらえるようなゲームを工夫し、みんなで考えました。真剣に楽しく準備をしながら、当日に向けてのシュミレーションも何度も行いました。